

- 問1 1467年の応仁の乱から、1549年のキリスト教伝来までの期間に起きた、加賀の一向一揆の説明として最も適切なものはどれですか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
1. 重い年貢や借金に苦しんだ農民が、徳政令を求めて京都の質屋などを襲撃した。
 2. 浄土真宗を信仰する人々が団結し、守護大名を倒して約100年間にわたる自治を行った。
 3. 後鳥羽上皇が幕府を倒そうと兵を挙げたが、北条政子らの呼びかけに応じた御家人に敗れた。
 4. 老中の松平定信が、幕府の財政を立て直すために厳しい俵約令や農村の復興を命じた。
- 問2 15世紀に尚氏によって統一された琉球王国は、地理的条件を最大限に活用し、日本、中国、朝鮮、東南アジア諸国を繋ぐ役割を果たしました。この時に行われた、各地の産物を仕入れて他国へ転売することで利益を得た貿易の名称として正しいものはどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 中継貿易
 2. 勘合貿易
 3. 南蛮貿易
 4. 朱印船貿易
- 問3 室町時代、商人たちが有力な寺社や公家に対して「座銭」と呼ばれる税を納めた目的として、当時の経済の仕組みから考えて正しいものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 外国との貿易を安全に行うため、幕府の許可証を発行してもらうこと。
 2. 特定の商品の製造や販売について、他者の参入を防ぎ、営業を独占すること。
 3. 全国の関所を無料で通過できるようにし、商品の輸送コストを下げること。
 4. 武士の支配に対抗するため、自治組織として独自の軍事力を持つこと。
- 問4 室町幕府が明と行った日明貿易において、正式な貿易船であることを証明するために「勘合」という札が用いられた理由として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 輸入品である銅銭の偽造を防ぎ、通貨の価値を安定させるため
 2. キリスト教の布教を目的とする宣教師が、密入国するのを防ぐため
 3. 幕府が特定の有力大名や商人に、貿易の独占権を与えるため
 4. 当時、沿岸部で略奪を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別するため
- 問5 14世紀前半の年表において、鎌倉幕府の滅亡と室町幕府の成立の間に位置づけられる「建武の新政」が、わずか2年余りで失敗に終わった主な理由として適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 元（モンゴル帝国）の再来に備えるための軍役が、武士の負担になりすぎたため
 2. キリスト教の布教を認めたことで、仏教勢力や保守的な武士が反乱を起こしたため
 3. 公家を重用し、武士の功績に対する恩賞や土地の権利を軽視したため
 4. 執権である北条氏が実権を握り続け、天皇の権力が及ばなかったため
- 問6 室町幕府の三代将軍である足利義満が、明との間で始めた貿易において、当時、東シナ海などで略奪行為を行っていた海賊（倭寇）と、幕府が認めた正式な貿易船を厳格に区別するために用いられた符札の名称を答えなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 割符
 2. 御教書
 3. 朱印状
 4. 勘合
- 問7 室町幕府の地方機関である鎌倉府において、その長官である「鎌倉公方（かまくらくぼう）」の地位を継承した人物たちの特徴として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 足利氏の一族が代々その地位を世襲した
 2. 北条氏の血を引く有力な御家人が任命された
 3. 京都から派遣された公家が行政のみを司った
 4. 有力な守護大名が数年ごとの交代制で務めた
- 問8 室町時代の中期以降、土民（農民）や運送業者である馬借らが団結し、実力行使によって借金の帳消しを求める「徳政一揆」が頻発しました。一揆勢が土倉や酒屋、さらに高利貸しを行っていた寺院などを襲撃した最大の目的として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. キリスト教の布教を阻止し、伝統的な仏教勢力を守るため
 2. 新しい年貢の徴収制度である「検地」を中止させるため
 3. 幕府の許可を得て、土地の所有権を天皇へ返還するため
 4. 借金の証文を破棄させることで、債務の無効化を強行するため
- 問9 鎌倉時代から室町時代にかけて、武家政権の支配力が全国へと拡大していく過程を説明した内容として、歴史的事実に基づいた正しいものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 後鳥羽上皇が隠岐に流される前に南北朝の合体が行われ、それを不服とした守護・地頭が応仁の乱を引き起こして戦国時代が始まった。
 2. 源頼朝が守護・地頭を設置して全国支配の基礎を固めた後、承久の乱で後鳥羽上皇を破って六波羅探題を置き、支配を西国まで広げた。
 3. 承久の乱で後鳥羽上皇が幕府を倒したことで武家政治は一時中断したが、足利尊氏が南北朝の合体を成し遂げて再び武家支配を確立した。
 4. 応仁の乱によって幕府の権威が全国に及ぶようになり、守護・地頭が各地の守護大名へと成長して南北朝を合体させた。
- 問10 奈良県柳生にある石碑には、「正長元年（1428年）より前におこなわれた借金は、特定の地域の郷においてすべて帳消しとする」といった内容が刻まれています。この石碑が作られるきっかけとなった出来事として正しいものを選びなさい。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 北条時宗が元軍の侵攻に対して防衛策を講じた元寇
 2. 足利尊氏が後醍醐天皇の建武の新政に反対して挙兵した戦い
 3. 守護大名の細川氏と山名氏が対立して京都を焦土とした応仁の乱
 4. 近江の馬借が中心となって蜂起し、徳政を求めた正長の土一揆
- 問11 室町時代に惣（惣村）と呼ばれる農民の自治組織が作られ、農民たちが一致団結して自ら村を運営するようになった背景や目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 農業技術の発達に伴い用水の確保や配分が重要になり、戦乱から村を守る必要も高まったため。
 2. 幕府からの強い要請により、農民同士で相互監視を行わせて年貢の未納を防ぐため。
 3. 領主が強制的に農民を移住させ、新しい開墾地を一括して管理させるため。
 4. 大名間の貿易を推進し、海外から輸入された品物を村の中で公平に分配するため。
- 問12 室町時代の村の組織である「惣」の活動内容や特徴について、説明として最も適切なものはどれか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 寄合を開いて独自の掟を定め、水利権の管理や領主への年貢の減免交渉を共同で行った。
 2. 寺院や神社の門前で市場を開き、特産品の独占販売権を領主から得るための組合として活動した。
 3. 幕府が農民を統制するために組織し、キリスト教の禁止や年貢の納入を連帯責任とした。
 4. 有力な武士が村を直接支配するために、村人の中から名主を選んで行政事務を分担させた。
- 問13 日本の歴史における文化作品とその時代背景について述べた次の説明のうち、室町時代の東山文化に該当するものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 狩野永徳によって描かれた、金箔を多用し力強い筆致が特徴の唐獅子図屏風
 2. 尾形光琳によって描かれた、徳川綱吉の時代の華やかさを象徴する風神雷神図屏風
 3. 出雲の阿国が京都で始めたとされる、後の歌舞伎の原型となった芸能
 4. 龍安寺にある、水を用いず石と砂のみで自然の風景を表現した石庭